

事前登録者への対応について

		現行(日本救急医学会)制度下での試行事前登録者 (2014・2015・2016年に事前登録をした者)	現行(日本救急医学会)制度下での通常申請者
救急勤務歴審査		プログラム修了証(申請時のP責任者の署名・捺印必要)の提出をもって勤務歴審査合格(配点10点)とする	救急専従、兼務した施設でそれぞれに勤務歴証明書の提出が必要 ・必須の1年を除いた専従歴について、指定施設であれば1年5点、非指定施設であれば1年2.5点の加点あり
	提出書類	1.救急科専門医申請書兼会員歴証明書 2.履歴書 3.プログラム修了証(プログラム責任者の証明が必要) 4.医師免許のコピー 5.申請手数料の入金証明	1.救急科専門医申請書兼会員歴証明書 2.履歴書 3.救急勤務歴証明書(それぞれ勤務した施設での証明が必要) 3.医師免許のコピー 4.申請手数料の入金証明
診療実績審査		現行での通常申請者と同様の申請が必要であるが、下記の特別措置がある ・記載できる症例の対象期間は、プログラムの期間(研修開始日～修了日)とする(現行では、専従期間と重複して兼任を認めていないため、A病院専従のときには、B病院に週1回勤務した症例を提出することはできないが、試行での事前登録者についてはプログラムの期間中に経験した症例であれば記載できる。ただし、申請時に症例を経験した施設に常勤の指導者(救急科専門医もしくは認証資格者)の証明が施設ごとに必要) 上記以外について(加点方法や重複記載の不可等)は、すべて現行での通常申請と同じとする	診療実績審査の際に記載できるのは、救急勤務歴に認められた施設ならびにその期間内の経験症例のみ(ただし、10年間) 申請時に症例を経験した施設に常勤の指導者(救急科専門医もしくは認証資格者)の証明が施設ごとに必要 規定数ぴったりだと0点で合格、規定数以上に記載された症例につき、加点される(上限10点) A項目内、C項目内に同一症例を記載してはならない(重複記載の禁止)
	提出書類	1.症例入力ファイル(Excelデータ) 2.診療実績証明書(症例を経験した各施設の指導者(救急科専門医もしくは認証資格者)の署名押印があるもの) 3.症例入力ファイルを印刷したもの(指導者印が必要) 4.JATEC・JPTEC・ICLSコース参加証明書(必須ではない)	1.症例入力ファイル(Excelデータ) 2.診療実績証明書(症例を経験した各施設の指導者(救急科専門医もしくは認証資格者)の署名押印があるもの) 3.症例入力ファイルを印刷したもの(指導者印が必要) 4.JATEC・JPTEC・ICLSコース参加証明書(必須ではない)
備考		・プログラム期間外(例:初期臨床研修期間中の専従歴等)の診療実績を使いたいなどの事情等により、現行制度下の通常申請者として申請することも選択できる ・現行制度については、平成27(2015)年までに医師免許を取得した方を対象に2025年(第1次(救急勤務歴)審査の受付締切が2025年2月の審査)まで実施予定	・現行制度については、平成27(2015)年までに医師免許を取得した方を対象に2025年(第1次(救急勤務歴)審査の受付締切が2025年2月の審査)まで実施予定
総合判定		救急勤務歴(配点上限10点)+診療実績審査(配点上限10点)+筆記試験(80点満点)とし、総得点70点以上を合格とする	